

水戸市中心市街地活性化協議会 運営委員会 議事録（案）

- 【日 時】 平成22年5月14日（金） 午後1時30分～午後3時40分
【場 所】 水戸商工会議所 第1会議室
【出席者】 委員定数34名 出席委員 30名（内委任状出席8名 出席者名簿：別紙）
オブザーバー1名（茨城県中小企業課）
【議 長】 齋藤 典生 運営委員長
【報告者】 水戸市中心市街地活性化協議会事務局（水戸商工会議所商工振興課内）
【議 題】 (1)各専門部会の活動状況と今後の事業展開について
(2)総会に上程する事項について

水戸市中心市街地活性化協議会の平成22年度事業計画（案）など定時総会に提案する事項について協議する平成22年度第1回運営委員会を開催した。

1. 開 会

2. あいさつ 齋藤 典生 運営委員長

委員長；昨年度「街なか居住推進に係る基礎調査報告書」を作成するなど、少しずつ成果が現れてきている。コミケットスペシャルで中心街が賑わったが、街なかの賑わいが戻るよう引き続き中心市街地活性化に向け協議会として活動していく。

- ・委員長あいさつ後、議事に入る前に事務局から運営委員およびオブザーバーの変更を紹介した。

【運営委員】

- ・银杏坂商店会長 （旧） 久米 勝 氏 （新） 榊原 厳典 氏
- ・市中心市街地担当 （旧）参事 大平 悟 氏 （新）参事 鳶 健 氏

【オブザーバー】

- ・県中小企業課担当者 （旧）係長 小林 仁 氏 （新）主任 神永 隆行 氏

3. 議 題

- ・齋藤典生運営委員長を議長に協議に入った。
- ・委員長は、協議の前に先に開催した調整会において「協議会が主体となって事業を実施する一方で、先に行われたイスバスやコミケ等のイベントにおいて多くの若いボランティアが高いモチベーションを持って参画していたことから、こうした潜在的なエネルギーを引き出し、巻き込むようなコーディネーター役・黒子役を担うことも協議会の役割であるという方向性、協議会の立ち位置について調整会議で合意した。また、活性化事業プラン（案）についても各部会長らと合意している」と調整会議での合意事項について報告した。

(1) 各専門部会の活動状況と今後の事業展開について

- ・委員長は、「街なか居住推進に係る基礎調査報告書」について説明を求めた。
- ・これを受け、街なか居住・市街地整備部会の海老原副部会長が報告書について概要を説明。
- ・委員長は「協議会として中心街の活性化に向け何をしていくか、何ができるか、というヒントがある有効な報告書である」と述べた。
- ・その後、議題（1）の審議に入った。
- ・委員長は「各部会の活性化事業プラン（案）は、各部会がこれまで部会で活動してきた中で、次の展開として考えられる事業や課題を事業プランとしたもので各正副部会長、調整会議で合意している。専門

部会、調整会議では、この事業プランを「たたき台」とし、事業の具体性や優先度、事業展開に関連する関係団体との話し合い、部会間の連携など、今後、それぞれの部会および調整会議において検討していくという含みがある」点について委員に説明した。

- ・委員長は事務局に資料1および資料1-2について説明を求めた。
- ・事務局から資料について説明
- ・委員長は各部会長らに事業プランに関する補足説明を求めた。

深谷部会長；一連のマンション建設も終わり在庫調整も済み、新たなマンション建設、大工町再開発も始まる。そうした環境の変化も捉えながら、街なか居住部会として推進していく。

林副部会長；部会としてはソフト事業を推進していく。今年の4月から「まちなか情報交流センター」となり、自由広場での定期的なイベントを実施。今週15・16日、6月19日にイベントを開催する。周辺の商店を巻き込んだイベントなど、小さいものでも毎週実施していきたい。また、ホーリーホックの支援としてグッズの販売も行なっている。

入江部会長；事業プランにあるが成果物を作っていく。また、NPOや福祉団体等のコーディネートしながら事業を進めていく。

- ・続いて、委員長は各運営委員に意見を求めた。

委員；市街地整備部会と福利向上部会それぞれ事業プランが出されているが事業によっては、『街なかに来たい・来やすい』という大きな枠で捉えることもできるのでは。また、すでに事業を展開しているもの「まちの駅」や「輪と和と話の会」などとリンクし、これらの事業をもっと引き上げ、効果的な事業の展開を図る。

委員；北口バス乗り場の発着案内が分かりづらい。

委員；新たな案内看板を設置した。また、バス路線図にしても新しい物をつくりたい。(バス事業者)

委員；路線・循環バスの利用について方面別に調査(実験)をしてはどうか。

委員；市内循環バスの利用促進として商店会がバス料金を負担する「バス乗車券」の配布を検討したが、資金(料金負担など)的な問題もあり足並みがそろわず実現していない。また、一つの乗り場でもバス会社によって行き先が違うため、案内看板が見づらい。

委員；4月から本町城東循環バス(買い物バス)を運行しているが、地元と事業者が協力して実施・運行している。

委員；市内循環バスの利用が少ない。買い物バスも利用を高める方法が必要。

委員；街なか居住の報告書は主にマンションが調査対象になっている。報告書に現れていない中心街の戸建て(住宅)居住の高齢者にとっては、公共交通は利用しづらい。コミュニティバスのシステムも必要なのではないだろうか。

委員；街なかの環境・交通を考えると「御用聞き」の感覚は今後重要。コープは組織として行ってきた。これからは、個店が原点に戻った経営(商売)ができないか。

委員；宅配や御用聞きなど個店が意識を持っていない。事業者が意識を変えないといけない。

委員；報告書を見ると居住者も商店会に期待しており、つながりを求めている。ぜひ、商店会も応えてほしい。

委員；大洗町や那珂市では商工会青年部が街なかで「便利屋」的な事業を行なっている。

委員；商店主の意識が変わるようなことを期待したい。また、「まちなか交流センター」は南町にあるが、南町だけを捉えているわけではない。周知して各商店会の交流・情報交換、連携の場にしたい。

委員；コミケの成果をどう活かすか重要。水戸にも、何か仕掛けがあれば人が集まる。そして、中心

街に魅力あるポイントが何箇所かあれば駅から借楽園へ繋がられる。

委員；「なぜコープなのか？」(街なか居住利便性向上事業)については、フードデザート関連で基礎調査報告書の報告会・意見交換会にコープが参加し、そこで、事業について投げかけたという経緯。また、新しいサービス事業などは、当事者(地元商店)がまとまらないといけない。

委員；大きなイベントを単発で実施しても効果は薄い。イベントは日常と繋がるようなものを商業者と住民(住む人・係る人)が一体となって実施し、広く意識を共有し連携しないと効果がない。また、バスは複数事業者が乗入れているため案内が複雑。

オブザ；県ではポータルサイトを開設し、空き店舗情報を提供するとともに、出店希望者とのマッチング事業を今年度も実施する。コープとの事業については地元商店のものもコープで宅配するのか。(県)

事務局；サービスのシステム化に向けた検討を行なうテーブルについてもらう機会を得た段階。商店街や大型店等と連携していく必要がある。コープとしても現在の宅配システムについて、高齢者や障害をもつ人に優しいシステムなど模索中で協力したいという意向。

委員；何時頃から動き出すのか。

事務局；6月にまた話し合いを行なう。その後、調整会議等で話をつめていきたい。

委員；駅前～郵便局前は中心街といっても疎外感がある。昨年からは青年部が立ち上がりイベントを実施している。これからは、他の商店会との連携をして進めていきたい。

委員；まちなか交流センターでは、イベントの動画放送によるPRなど積極的連携していきたい。

委員；商店会だけでなく、町内会や子供会、女性団体など地域のイベントも連携して進めたい。

委員；空き店舗での介護事業などはできないか。

委員；中心街では家賃が高く事業としてはできない。

委員；空き店舗事業は紹介まで。家賃などといった部分には関与できない。

委員長は、「事業プラン(案)」について文言等修正がある場合は委員長と事務局で調整するとして「事業プラン(案)」について諮ったところ異議無く運営委員会で承認された。

「事業プラン(案)」については、平成22年度事業計画(案)の具体的な事業内容として総会に上程する。

(2) 総会に上程する事項について

- ・委員長は、「定時総会に上程する事項」として資料2の説明を事務局に求めた。
- ・これを受け、事務局から資料に基づき「平成21年度事業報告」「平成21年度収支決算報告」「平成22年度事業計画(案)」「平成21年度収支予算(案)」について説明。
- ・事務局の説明後、委員長は総会に提案する事項について運営委員に質問等を求めたが、特に質問等は無く、委員に諮ったところ異議無く承認され、総会に上程することとした。

4. その他

水戸ホーリーホックの支援と地域振興を目的とした「地域活性化とまちづくり講演会」(仮称)への中心市街地活性化協議会としての後援について提案があり、運営委員会で協議し、後援を承認した。「映画桜田門外の変」の進捗状況等について説明があった。キャストも発表され、7月末に完成試写会を行なう予定。

水戸市中心市街地活性化協議会運営委員 平成22年度第1回運営委員会出席者名簿

【平成22年5月14日(金) 午後1時30分～午後3時40分】

会場；水戸商工会議所 第1会議室

(順不同・敬称略)

	所属団体・事業所等	氏名	出欠
協議会 構成員 委員	水戸商工会議所 副会頭	鈴木 重男	×
	水戸商工会議所 中部ブロック協議会長	黒澤 輝子	委任状
	水戸商工会議所 商業振興委員会委員長	大圃 哲生	委任状
	水戸商工会議所 まちづくり委員会委員長	深谷 邦夫	
	NPO 法人茨城の暮らしと景観を考える会 代表理事	三上 靖彦	
	水戸市商店街連合会 副会長	大橋 章	
	駅前地区商店会 代表	榊原 厳典	
	南町地区商店会 代表	中村 眞一	
	泉町地区商店会 代表	金澤 克憲	
	大工町地区商店会 代表	根本 輝一	委任状
	(株)水戸京成百貨店 総務部長	今井 真澄	
	茨城県バス協会 専務理事	瀬谷 憲雄	
	(株)常陽銀行 公務渉外部地域支援グループ次長	井口 猛	
	(株)文化メディアワークス 取締役会長	入江 清芳	
	(株)茨城新聞 編集局長・NIE担当	滝本 政衛	委任状
	大工町一丁目市街地再開発組合 副理事長	平松 克章	×
	茨城大学 人文学部 教授	齋藤 典生	
	法定外 構成員	水戸市産業経済部 参事(中心市街地活性化担当)	鳶 健
水戸市産業経済部 参事兼商工課長		高畑 孝	委任状
水戸市都市計画部 都市計画課長		柏 広和	×
(株)横須賀満夫建築設計事務所 代表取締役		横須賀 満夫	×
(株)葵建設工業 代表取締役		栗原 英則	
(株)JR東日本水戸支社 企画室長		小林 雄一	委任状
水戸市芸術振興財団 事務局長		大津 良夫	
常磐大学 コミュニティ振興学部 教授		井上 繁	委任状
水戸市駐車場業組合 会長		川上 典夫	
(株)まちプラン研究所 所長		林 雄一	
まち里研究		松本 治郎	
常陽地域研究センター 事務局長		出井 滋信	
(株)常陽産業研究所 地域振興部主任調査役	海老原 健		
NPO法人茨城NPOセンター commons 常務理事	横田 能洋	×	
(有)アイブ・アールズ あおぞらテイク・ビジネス水戸 取締役	岩下 由加里		
泉町一丁目北地区市街地再開発準備組合 理事	綿引 甚介	委任状	
NHK水戸放送局 副局長	藤田 信		

・・・出席 ×・・・欠席 委任状・・・委任状出席